# 2006 年 冬学期 第 2 回 物性セミナー

**講師　栗田 玲 氏 ( 東大生研 )**

**題目 「分子性液体における液体・液体相転移現象」**

**日時** 2006 年 10 月 20 日 ( 金 ) 午後 4 時 30 分

**場所** 16 号館 827

## ■アブストラクト

単一成分系において、２つの液体状態が存在し、その間を一次転移するという「液体・液体相転移」は、「液体は一様である」という常識に反しているため、近年注目を浴びている。この相転移の存在について議論があったが、リンにおいて明確な液体・液体相転移を示す結果が片山らによって報告された。しかし、実験条件が高温・高圧と厳しく、そのダイナミクスや起源を追うことはできなかった。我々は Triphenyl Phosphite(TPP) という分子性液体において、液体・液体相転移を発見した。この相転移は常圧で起こるため、様々な測定手法を用いることが可能である。そこで、相転移のキネティクスや性質について詳細に調べた。液体・液体相転移現象は我々が提唱する「2 秩序変数モデル」を用いて説明するできた。

今回、液体・液体相転移のキネティクスを中心に話すつもりである。

## ■宣伝用 PDF ビラ

## ■物性セミナーのページ

http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar

## ■駒場セミナーカレンダー ( 駒場内のみアクセス可 )

http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/webcal/webcal.cgi